

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 平成30年中の災害発生状況

(1) 人的被害

重傷者37人、軽傷者112人

(2) 住家被害

全壊1棟、半壊10棟、一部破損690棟、床上浸水3棟、床下浸水25棟

第1表 平成30年中の災害発生状況

発生年月日 区分	災害名		大雪 1月12日～14日	大雪 1月24日～29日	大雪 2月5日～22日	大雪 3月5日	融雪 3月8日	融雪 3月22日～23日	大雨 7月4日～12日	台風20号 8月24日	台風21号 9月4日～5日	台風24号 9月30日～10月1日	計
	死者	負傷者											
人的被害	人	人	1		12	1							14
	行方不明者												0
	重傷	人	4	6	26						1		37
	軽傷	人	8	1	94					3	6		112
住家被害	棟	棟			1								1
	半壊	棟			6						4		10
	一部破損	棟	1		542	1			4	24	115	3	690
	床上浸水	棟							3				3
	床下浸水	棟			7				18				25
非住家	公共建物	棟			6					1	1		8
	その他	棟			124				1	1	8		134
そ	流失・埋没	ha											0
田	冠水	ha								3			3
畑	流失・埋没	ha											0
	冠水	ha									3		3
の	学校	箇所		1	26				2	2	12		43
	病院	箇所											0
	道路	箇所			1		1	1	26	17	9		55
	橋りょう	箇所			1								1
他	河川	箇所							37		6		43

発生年月日 区分	災害名		大雪	大雪	大雪	大雪	大雪	大雪	融雪	融雪	大雨	台風20号	台風21号	台風24号	計	
	1月24日～29日	1月24日～29日	1月24日～29日	2月5日～22日	3月5日	3月8日	3月22日～23日	7月4日～12日	8月24日	9月4日～5日	9月30日～10月1日					
その他	港湾	箇所													0	
	砂防	箇所						15		1			1		17	
	清掃施設	箇所													0	
	崖くずれ	箇所						2							2	
	鉄道不通	箇所								1		1	1		3	
	被害船舶	隻								3		1	1		4	
	水道	戸													0	
	電話	回線												6	6	
	電気	戸		190					24	20						5,434
	ガス	戸														0
火災発生	建物	件													0	
	危険物	件													0	
	その他	件													0	
	り災世帯数	世帯				6					3		2		11	
	り災者数	人				13					8		3		24	
	公立文教施設	千円		5,627							450	1,296	7,674		15,047	
	農林水産業施設	千円		205,417							101,733	146	10,142		317,438	
	公共土木施設	千円		309,201					19,051	17,722	2,638,337	20,992	76,052	7,430	3,088,785	
	その他の公共施設	千円		35,588							458	715	82,999		119,760	
	公共施設被害市町村数	団体		10					1	1	3	2	4	1	22	
その他被害	千円									1,157	1,100	2,792		5,049		
被害総額	千円	24,314	1,027,460					19,051	17,722	2,742,135	24,449	179,659	7,430	4,042,220		
都道府県設置	設置		2月6日										9月4日			
災害対策本部解散	解散		2月22日										9月5日			
災害対策本部設置市町村	市町村		8							8	2		5	6	29	
災害救助法適用市町村	市町村		9													
消防職員出動延人数	人	21	1,203	9						215	41	160	7	1,656		
消防団員出動延人数	人		2,016							463	37	158	115	2,789		

2 過去5年間の災害発生状況（平成26年～30年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2014 (平26) 5.12	強風	(1)その他被害 その他 3件 (2)農産被害 1,660千円	日本の東に高気圧があつて、一方、中国東北 区に前線を伴った低気圧が北東に進んだた め、日本付近は気圧の傾きが大きくなり、福 井県では12日朝をピークに強風が吹いた。 (日最大風速) 敦賀 19.1m/s(南南東)07時58分 三国 17.7m/s(南南東)09時47分 (日最大瞬間風速) 敦賀 29.1m/s(南南東)07時51分 美浜 26.6m/s(南南東)21時14分
2014 (平26) 7.10	台風 8号	(1)その他被害 道路 1箇所 (2)公共土木施設被害 22,267千円	鹿児島県阿久根市付近に上陸した台風第8号 が本州の南を東進した影響で、南から暖かく 湿った空気が流れ込み、奥越中心に時々雨と なった。 (日最大1時間降水量(10日)) 九頭竜 30.0 ^{mm} 、美浜 5.0 ^{mm} (日降水量(10日)) 九頭竜 79.5 ^{mm} 、美山 11.0 ^{mm} (日最大風速) 三国 11.8m/s(南南東)07時35分 敦賀 9.9 m/s(南東)15時50分 (日最大瞬間風速) 敦賀 17.3m/s(南南東)15時41分 三国 16.4 m/s(南南東)07時31分
2014 (平26) 7.17	大雨・ 強風・ 落雷	(1)非住家被害 その他 1棟 (2)電気被害 4,530戸 (3)その他公共施設被害 840千円	梅雨前線に向かって湿った空気が流れ込ん だ影響で、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(17日)) 小浜 32.5 ^{mm} 、春江・美浜 14.0 ^{mm} (日降水量(17日)) 小浜 33.0 ^{mm} 、勝山 24.0 ^{mm} (日最大風速) 小浜 14.3m/s(一)14時07分 勝山 7.3m/s(北北西)14時27分 (日最大瞬間風速) 小浜 33.8m/s(一)14時02分 勝山 11.7m/s(北西)14時22分
2014 (平26) 7.20	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)その他 道路 2箇所 (3)その他 河川 5箇所 (4)電気被害 2,163戸 (5)農林水産業施設被害 16,864千円 (6)公共土木施設被害 197,796千円 (7)その他の公共施設被害 1,051千円	上空に寒気を伴った気圧の谷と湿った空気 の影響で、大気の状態が非常に不安定となっ た。 (日最大1時間降水量(20日)) 三国 56.5 ^{mm} 、福井 52.5 ^{mm} (日降水量(20日)) 福井 77.5 ^{mm} 、勝山 71.0 ^{mm}

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2014 (平 26) 8. 9	台風 11 号	(1) 人的被害 軽傷 1 人 (2) 住家被害 一部破損 1 棟 (3) 田 冠水 17.5ha (4) 畑 冠水 22.1ha (5) その他 道路 5 箇所 (6) その他 河川 10 箇所 (7) その他 砂防 10 箇所 (8) その他 崖くずれ 3 箇所 (9) 電気被害 30 戸 (10) その他 その他被害 9 箇所 (11) 農林水産業施設被害 41,707 千円 (12) 公共土木施設被害 267,506 千円 (13) その他の公共施設被害 8,603 千円	台風第 11 号が四国の南海上を北上し、北陸地方の沿岸に停滞した前線に南からの暖かく湿った空気の影響で大雨となった。 (日最大 1 時間降水量 (9 日)) 大飯 18.0 [㎜] 、越廼 11.5 [㎜] (日降水量 (9 日)) 大飯 102.0 [㎜] 、美浜 71.5 [㎜] (日最大風速) 小浜 9.2m/s(東南東)18 時 52 分 敦賀 8.1m/s(南南東)22 時 14 分 (日最大瞬間風速) 小浜 18.8m/s(南東)23 時 59 分 美浜 15.5m/s(東)22 時 09 分
2014 (平26) 8. 15	大雨	(1) 住家被害 床下浸水 1 棟	北陸地方に停滞する前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、雨で雷を伴い、大雨となった。 (日最大 1 時間降水量 (15 日)) 春江 33.5 [㎜] 、越廼 30.5 [㎜] (日降水量 (15 日)) 越廼 83.5 [㎜] 、勝山 75.0 [㎜]
2014 (平 26) 8. 26	大雨	(1) その他 砂防 2 箇所 (2) その他の公共施設被害 2,062 千円	前線を伴った低気圧が北陸地方を東進した影響で、雨時々曇りで嶺北を中心に雷を伴い大雨となった。 (日最大 1 時間降水量 (26 日)) 春江 33.5 [㎜] 、三国 24.0 [㎜] (日降水量 (26 日)) 春江 87.5 [㎜] 、三国 67.0 [㎜]
2014 (平26) 10. 5	台風 18号	(1) 電気被害 3,080 千円	高気圧に覆われましたが、台風第 18 号が西日本太平洋側に北上したため、雨一時曇りとなった。 (日最大 1 時間降水量 (5 日)) 敦賀 6.0 [㎜] 、武生 5.0 [㎜] (日降水量 (5 日)) 九頭竜 9.5 [㎜] 、武生 8.0 [㎜] (日最大風速) 三国 7.6m/s(北東)19 時 37 分 春江 5.4m/s (北) 18 時 24 分 (日最大瞬間風速) 三国 13.8m/s(北東)18 時 06 分 春江 7.2m/s(北)18 時 23 分 越廼 7.2m/s(東北東)19 時 11 分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2014 (平26) 10.13	台風 19号	(1)その他被害 河川 1箇所 (2)その他被害 港湾 1箇所 (3)その他被害 砂防 1箇所 (4)公共土木施設被害 82,291千円	台風第19号は鹿児島県枕崎市付近に上陸し、その後、三重県津市付近を東北東に進み、勢力を維持したまま東海地方から関東地方北部へ速度を速めながら北東に進んだため、雨時々曇りで夜は大雨となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 三国 23.5 ^{mm} 、越廼 22.0 ^{mm} (日降水量(13日)) 大飯 112.5 ^{mm} 、九頭竜 91.5 ^{mm} (日最大風速) 小浜 15.9m/s(北)22時16分 春江 14.7m/s(北)23時24分 (日最大瞬間風速) 小浜 26.4m/s(北北西)23時49分 福井 21.5m/s(北北西)23時02分
2014 (平26) 12.2	強風・ 波浪	(1)公共土木施設被害 2,616千円	日本付近は強い冬型の気圧配置となり、雨一時みぞれ又は雪で、雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大風速) 越廼 13.0m/s(西)00時31分 春江 11.9m/s(西)00時31分 (日最大瞬間風速) 三国 23.0m/s(西北西)05時36分 越廼 21.7m/s(西)09時39分
2014 (平26) 12.3	竜巻	(1)その他被害 その他 2箇所	強い冬型の気圧配置となり、上空の寒気の影響により大気の状態が不安定となり、坂井市では竜巻(F0)と推定される現象が発生した。 (日最大風速) 福井 8.1m/s(南西)06時20分 三国 10.3m/s(西南西)01時10分 (日最大瞬間風速) 福井 14.0m/s(南南西)06時13分 三国 23.1m/s(西南西)01時02分
2014 (平26) 12.5	強風・ 波浪	(1)住家被害 一部破損 1棟 (2)その他被害 その他 2箇所 (3)公共土木施設被害 215,500千円	上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、冬型の気圧配置が強まり大気の状態が不安定となった。 (日最大風速) 越廼 11.6m/s(西)07時01分 敦賀 11.4m/s(西)16時20分 (日最大瞬間風速) 三国 20.7m/s(西)10時52分 越廼 20.2m/s(西南西)06時07分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2014 (平26) 12.7 ～ 2015 (平27) 3.31	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 3人 軽傷 4人 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)公共土木施設被害 103,931千円	12月は冬型の気圧配置や寒気を伴った気圧の谷の影響で、雪や雨の日が多く、気温はかなり低くなった。1月、2月は上旬に冬型の気圧配置が強まり大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 32センチ1月1日 敦賀 34センチ2月9日 九頭竜 65センチ12月22日 大野 42センチ12月22日 武生 33センチ1月2日 今庄 51センチ1月1日 小浜 38センチ1月1日 (最深積雪最大値) 福井 56センチ1月2日 敦賀 64センチ2月10日 九頭竜 227センチ2月14日 大野 115センチ1月3日 武生 50センチ1月3日 今庄 113センチ1月3日 小浜 44センチ1月2日
2014 (平26) 12.13	落雷	(1)その他被害 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 6,984千円	冬型の気圧配置が強まったため、みぞれや雪で雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大1時間降水量(13日)) 今庄 10.0 ^{mm} 、武生 9.5 ^{mm} (日降水量(13日)) 今庄 68.0 ^{mm} 、武生 41.5 ^{mm} (日最大風速) 越廼 12.4m/s(西)20時01分 三国 11.9m/s(西北西)06時46分 (日最大瞬間風速) 三国 21.5m/s(西)14時06分 越廼 20.0m/s(西南西)17時41分
2014 (平26) 12.16	風浪	(1)その他被害 道路 2箇所 (2)その他被害 河川 1箇所 (3)その他被害 港湾 1箇所 (4)その他被害 海岸 4箇所 (5)公共土木施設被害 892,684千円	日本海北部にある発達中の低気圧からのびる寒冷前線が通過したため、雨で雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大風速) 越廼 13.9m/s(西北西)23時06分 春江 12.2m/s(西)22時44分 (日最大瞬間風速) 三国 24.7m/s(西北西)18時54分 越廼 21.3m/s(西)22時56分
2014 (平26) 12.17	斜面崩壊	(1)その他被害 崖くずれ 1箇所	強い冬型の気圧配置となったため、雪時々曇りで雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大1時間降水量(17日)) 今庄 8.0 ^{mm} 、美山 7.5 ^{mm} (日降水量(17日)) 武生 38.0 ^{mm} 、美山 38.0 ^{mm}

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2015 (平27) 1.11	強風	(1)住家被害 一部破損 42棟 (2)非住家被害 公共建物 2棟 その他 5棟 (3)その他被害 28,917千円	日本付近は強い冬型の気圧配置となり、福井県では、寒気を伴った上空の気圧の谷の影響で、大気の状態が非常に不安定となった。 坂井市三国町楽円からあわら市市姫で発生した突風は、竜巻(F0)と推定。坂井市三国町米納津から坂井町木部新保で発生した突風は、竜巻(F1)と推定。 (日最大風速) 敦賀 15.4m/s(北北西)19時12分 春江 13.0m/s(北)18時56分 (日最大瞬間風速) 三国 21.9m/s(西北西)16時08分 敦賀 21.0m/s(北北西)19時08分
2015 (平27) 7.17~18	台風 11号	(1)その他被害 河川 4箇所 (2)その他被害 砂防 9箇所 (3)公共土木施設被害 272,580千円 (4)その他の公共施設被害 6,472千円	17日夜に山陰沖に進んだ台風第11号は、18日には熱帯低気圧に変わり日本海を北東に進んだため大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(18日)) 美浜 17.5 ^{mm} 、敦賀 17.0 ^{mm} (日降水量) 小浜 84.5 ^{mm} (17日)、 敦賀 79.5 ^{mm} (18日)
2015 (平27) 8.5	落雷	(1)人的被害 重傷 1人	南から湿った空気と上空寒気により大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨となったところがあった(福井地方気象台で14:12から14:40に雷電を観測)。
2015 (平27) 8.25	台風 15号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他の公共施設被害 216千円	強い台風第15号は25日06時過ぎには熊本県荒尾市付近に上陸した後、北に進み10時には日本海に達した。21時には大型の台風となった。このため、非常に強い風を観測したところがあった。 (日最大風速) 敦賀 20.4m/s(南東)17時49分 三国 16.0m/s(南南東)20時00分 (日最大瞬間風速) 敦賀 30.7m/s(南東)18時26分 小浜 30.6m/s(東南東)17時01分
2015 (平27) 9.8~9	台風 18号	(1)公共土木施設被害 4,308千円	台風第18号が、東海地方から北陸地方を北上し日本海に進んだため、大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(9日)) 美浜 26.5 ^{mm} 、敦賀 22.0 ^{mm} (日降水量(9日)) 今庄 100.0 ^{mm} 、敦賀 85.0 ^{mm}
2015 (平27) 10.1~2	大雨	(1)公共土木施設被害 13,142千円	前線を伴った低気圧が急速に発達しながら北陸地方を通過したため、大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(2日)) 今庄 57.5 ^{mm} 、敦賀 48.0 ^{mm} (日降水量(2日)) 今庄 83.0 ^{mm} 、美山 73.0 ^{mm} (日最大風速) 小浜 14.6m/s(北西)2日01時21分 敦賀 14.4m/s(南南東)1日16時38分 (日最大瞬間風速) 敦賀 23.6m/s(西北西)2日01時02分 小浜 23.5m/s(北北西)2日01時09分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2015 (平27) 12. 4	強風	(1) 公共土木施設被害 429,531 千円	日本付近は冬型の気圧配置となり、福井県では、大気の状態が不安定となった。 (日最大風速) 越廼 13.1m/s(西)4日05時02分 敦賀 12.1m/s(西)4日05時30分 (日最大瞬間風速) 三国 28.1m/s(西)4日00時53分 越廼 23.6m/s(西南西)4日01時24分
2015 (平27) 12. 11	強風	(1) 人的被害 重傷 1人	本州上を前線を伴った低気圧が東北東進したため、大雨や強風となった。また、大気の状態が非常に不安定となり、竜巻等の激しい突風が発生しやすい状況となった。 (日最大1時間降水量(11日)) 武生 24.0 ^{mm} 、美浜 22.5 ^{mm} (日降水量(11日)) 大飯 92.5 ^{mm} 、小浜 86.0 ^{mm} (日最大風速) 春江 15.3m/s(北)11日12時26分 敦賀 15.3m/s(北北西)11日14時13分 (日最大瞬間風速) 小浜 24.7m/s(北北西)11日13時27分 敦賀 22.9m/s(北北西)11日14時04分
2015 (平27) 12. 17 ～ 2016 (平28) 2. 29	大雪	(1) 人的被害 軽傷 4人	12月は低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多く、1月24日から25日にかけて嶺北中心に、2月中頃は嶺南中心に一時的に冬型の気圧配置が強まって大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 36センチ1月24日 敦賀 21センチ2月16日 九頭竜 35センチ1月19日 大野 34センチ1月24日 武生 26センチ1月25日 今庄 50センチ1月25日 小浜 15センチ2月16日 (最深積雪最大値) 福井 47センチ1月26日 敦賀 21センチ2月16日 九頭竜 87センチ1月25日 大野 57センチ1月25日 武生 39センチ1月25日 今庄 59センチ1月25日 小浜 27センチ2月16日
2016 (平28) 4. 17	暴風	(1) 人的被害 軽傷 2人 (2) その他被害 15,075 千円	華中で前線上に発生した低気圧が、発達しながら北東に進み、17日未明には朝鮮半島に、その後も発達しながら日本海を北東に進み17日夜には北海道西海上に進んだ。この低気圧の影響で福井県内では、16日夜から風が強まり、17日昼過ぎにかけて非常に強い風を観測した所があった。 (日最大風速(17日)) 三国 21.2m/s(南)10時35分 敦賀 20.0m/s(南南東)06時41分 (日最大瞬間風速(17日)) 敦賀 32.9m/s(南南東)08時08分 三国 30.1m/s(南)11時13分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2016 (平28) 5.3	暴風	(1)人的被害 重傷 2人 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 10棟 (3)非住家被害 その他 3棟 (4)農林水産業施設被害 15,000千円 (5)その他の公共施設被害 854千円 (6)その他被害 6,800千円	黄河下流で発生した低気圧は、ボツ海から 黄海付近を通過し、中国東北区を進んだ3日 昼頃にかけて急速に発達し、その後は東北東 進した。この低気圧からのびる寒冷前線が、3 日夜から4日未明にかけて北陸地方を通過し た影響で、福井県内では、3日未明から風が強 まり、夜遅くかけて非常に強い風を観測した 所があった。 (日最大風速(3日)) 敦賀 22.9m/s(南南東)20時15分 三国 21.7m/s(南南東)22時05分 (日最大瞬間風速(3日)) 敦賀 35.8m/s(南東)11時17分 三国 31.6m/s(南)21時57分
2016 (平28) 6.25	大雨	(1)農林水産業施設被害 9,757千円	前線を伴った低気圧が日本海を北東進した 影響で、嶺北を中心に大雨となり強い雨を観 測した所があった。 (日最大1時間降水量(26日)) 三国 42.0 ^{mm} 5時33分
2016 (平28) 9.20	台風 16号	(1)住家被害 床上浸水 1棟 一部破損 1棟 (2)公共土木施設被害 224,135千円 (3)その他被害 1,136千円 (4)災害対策本部設置市町村 敦賀市、池田町	台風16号が、太平洋沿岸を北東進した影響 で、福井県では、19日から20日にかけて雨が 降り、強い雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(20日)) 敦賀 33.5 ^{mm} 14時46分 九頭竜 28.5 ^{mm} 16時11分 小浜 28.5 ^{mm} 13時24分 (日降水量(20日)) 九頭竜 117.0 ^{mm} 、大飯 109.5 ^{mm}
2016 (平28) 10.5	台風 18号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他被害 300千円	台風18号が、対馬海峡から山陰沖を通過し 能登半島沖に進んだ影響で、福井県では、5日 昼前から風が強まり、5日夜遅くにかけて強い 風を観測した所があった。 (日最大風速(5日)) 敦賀 16.0m/s(南南東)16時10分 三国 18.4m/s(南)19時31分 (日最大瞬間風速) 三国 26.4m/s(南)19時25分 敦賀 25.3m/s(南)15時52分
2017 (平29) 8.7~8	台風5 号	(1)住家被害 全壊 1棟 床下浸水 3棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 3箇所 (4)その他被害 河川 24箇所 (5)その他被害 港湾 2箇所 (6)その他被害 砂防 5箇所 (7)公共土木施設被害 393,080千円 (8)災害対策本部設置市町村 小浜市	台風第5号は、四国の南を通り、7日15時 半頃に暴風域を伴ったまま和歌山県北部に上 陸した。上陸後は近畿地方を北東に進み8日 には石川県白山市付近を通過した影響で、福 井県では、7日から8日にかけて断続的に強い 雨が降った。 8日は激しい雨を観測した所もあり、7日00 時から8日24時にかけての総降水量は、奥越、 嶺南を中心に200mmを超えた所があった。 (日最大1時間降水量(8日)) 美山 41.0mm 06時45分 小浜 35.0mm 00時55分 (7日~8日の期間降水量) 九頭竜 223.5mm、敦賀 207.5mm

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2017 (平29) 8.12	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 1箇所 (4)公共土木施設被害 20,496千円 (5)災害対策本部設置市町村 高浜町	気圧の谷や湿った空気の影響で、嶺南では激しい雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(12日)) 小浜 45.5mm 04時14分
2017 (平29) 8.25	大雨	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 砂防 1箇所 (4)公共土木施設被害 16,588千円 (5)災害対策本部設置市町村 永平寺町	低気圧から伸びる前線が北陸地方を南下したため、雷を伴って激しい雨の降った所があった。 (日最大1時間降水量(25日)) 勝山 42.0mm 10時03分 大野 39.0mm 11時00分 福井 34.5mm 09時45分 春江 34.0mm 09時27分
2017 (平29) 9.18	台風18号	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 港湾 1箇所 (4)その他被害 砂防 1箇所 (5)電気被害 31戸 (4)公共土木施設被害 275,419千円	台風第18号が、兵庫県明石市付近に上陸した後、17日夜遅くから18日未明にかけて福井県を通過した影響で、福井県では激しい雨の降った所があった。 また、台風が最も接近した17日夜遅くから風が強まり、18日未明に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(18日)) 越廼 43.5mm 00時12分 (日最大1時間降水量(17日)) 大飯 38.0mm 23時34分 三国 37.5mm 23時16分 九頭竜 35.0mm 23時25分 (17日～18日の期間降水量) 大飯 114.5mm、小浜 112.5mm (日最大風速(18日)) 敦賀 17.2m/s(北西)00時32分 小浜 16.8m/s(北西)00時49分 (日最大瞬間風速(18日)) 敦賀 26.2m/s(北西)00時24分 小浜 30.6m/s(北北西)00時40分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2017 (平29) 10.22 ~ 23	台風 21 号	<p>(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 4人</p> <p>(2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 609棟 床上浸水 5棟 床下浸水 57棟</p> <p>(3)非住家被害 公共施設 9棟 その他 87棟</p> <p>(4)その他被害 学校 20箇所</p> <p>(5)その他被害 病院 1箇所</p> <p>(6)その他被害 道路 127箇所</p> <p>(7)その他被害 橋りょう 1箇所</p> <p>(8)その他被害 河川 89箇所</p> <p>(9)その他被害 港湾 4箇所</p> <p>(10)その他被害 砂防 31箇所</p> <p>(11)その他被害 清掃施設 2箇所</p> <p>(12)その他被害 崖くずれ 4箇所</p> <p>(13)その他被害 被害船舶 9隻</p> <p>(14)電話被害 4回線</p> <p>(15)電気被害 7,545戸</p> <p>(16)公共文教施設被害 15,912千円</p> <p>(17)農林水産業施設被害 479,172千円</p> <p>(18)公共土木施設被害 4,124,326千円</p> <p>(19)その他の公共施設被害 129,904千円</p> <p>(20)その他被害 592,067千円</p> <p>(21)災害対策本部設置市町村 敦賀市、小浜市、鯖江市、 越前市、永平寺町、越前町、 高浜町、おおい町</p>	<p>台風第 21 号が、静岡県御前崎市付近に上陸した後、東海地方および関東地方を北東に進んだ影響で、福井県では激しい雨を観測した所があった。</p> <p>台風が最も接近した 22 日夜遅くから 23 日未明にかけて、非常に強い風を観測した所があった。</p> <p>(日最大 1 時間降水量 (22 日)) 大飯 38.0mm 22 時 33 分 越廼 34.5mm 23 時 21 分</p> <p>(日最大 1 時間降水量 (23 日)) 大飯 31.0mm 00 時 01 分</p> <p>(22 日～23 日の期間水量) 大飯 304.0mm、小浜 112.5mm 今庄 253.0mm、</p> <p>(日最大風速 (23 日)) 春江 23.1m/s(北)01 時 47 分 今庄 22.5m/s(北)02 時 43 分 小浜 20.3m/s(北)01 時 04 分</p> <p>(日最大瞬間風速 (23 日)) 春江 33.4m/s(北)01 時 44 分 今庄 36.8m/s(北)02 時 37 分 小浜 38.8m/s(北)02 時 07 分</p>

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 1.12～14	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 4人 軽傷 8人 (2)住家被害 一部損壊 1棟 (3)農産被害 24,314千円	1月中旬から2月中旬にかけて、強い寒気が周期的に入った。 特に、2月3日から8日は強い冬型の気圧配置が続いたため、嶺北を中心に記録的な大雪となった。 嶺北では5日夜遅くから6日昼前にかけて1時間に5cmを超える強い雪が断続的に降り、6日10時までの12時間で50cm前後の降雪量を観測した所があった。 7日15時には福井市の積雪がこの期間の最深の147cmに達し、昭和56年の豪雪(196cm)以来の大雪となった。 8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。
2018 (平30) 1.24～29	大雪	(1)人的被害 重傷 6人 軽傷 1人 (2)その他 学校 1箇所	8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。
2018 (平30) 2.5～22	大雪	(1)人的被害 死者 12人 重傷 26人 軽傷 94人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 542棟 床下浸水 7棟 (3)非住家被害 公共建物 6棟 その他 121棟 (4)その他 学校 26箇所 (5)その他 道路 1箇所 (6)その他 橋梁 1箇所 (7)公立文教施設被害 5,627千円 (8)農林水産業施設被害 205,417千円 (9)公共土木施設被害 309,201千円 (10)その他公共施設被害 35,588千円 (11)その他被害 1,027,460千円 (12)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町	<アメダスの最深積雪 (期間：2017年12月～2018年2月)> 福井147cm(2月7日) 武生130cm(2月13日) 大野177cm(2月13日) 九頭竜301cm(2月13日) 今庄162cm(2月13日) 敦賀57cm(2月8日) 小浜48cm(2月8日) <大雪警報発表日> 1月11日、1月12日、1月13日、 1月24日、2月4日、2月5日、 2月6日、2月7日、2月8日、 2月12日、2月13日
2018 (平30) 3.5	大雪	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟	
2018 (平30) 3.8	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 19,051千円	
2018 (平30) 3.22～23	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 17,722千円	

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 7.4～12	大雨	(1)住家被害 一部破損 4棟 床上浸水 3棟 床下浸水 18棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他 学校 2箇所 (4)その他 道路 26箇所 (5)その他 河川 37箇所 (6)その他 港湾 15箇所 (7)その他 崖崩れ 2箇所 (8)電気被害 24戸 (9)公立文教施設被害 450千円 (10)農林水産業施設被害 101,733千円 (11)公共土木施設被害 2,638,337千円 (12)その他の公共施設被害 458千円 (13)その他被害 1,157千円 (14)災害対策本部設置市町 敦賀市、大野市、あわら市、 越前市、永平寺町、 南越前町、越前町、高浜町	4日は台風第7号が日本海を北東に進み、その後、8日にかけて梅雨前線が本州付近に停滞した。 日本付近には暖かく湿った空気が供給され続けたため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。 福井県では、多い所では4日から8日までの総降水量が400mmを超える大雨となった。 <4日から8日までの総降水量> 九頭竜 424.5mm、三国 417.0mm、越廼 330.0mm 三国、越廼、勝山、武生、今庄、美浜、大飯では7月の日降水量の極値を更新した。 <極値を更新したアメダス> 三国(7日:164mm)、越廼(7日:193mm)、 勝山(5日:178mm)、武生(5日:183mm)、 今庄(5日:161mm)、美浜(5日:131.5mm)、 大飯(7日:151mm)、 平成30年6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、気象庁は、この大雨の名称を「平成30年7月豪雨」と定めた。
2018 (平30) 8.24	台風 20号	(1)人的被害 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 24棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 1棟 (4)田 冠水 3.0ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 17箇所 (7)その他 鉄道不通 1箇所 (8)その他 被害船舶 3隻 (9)電気被害 20戸 (10)公立文教施設被害 1,296千円 (11)農林水産業施設被害 146千円 (12)公共土木施設被害 20,992千円 (13)その他の公共施設被害 715千円 (14)その他被害 1,100千円 (15)災害対策本部設置市町 小浜市、鯖江市	台風第20号は、23日は、四国の南海上を北上し、強い勢力で暴風域を伴ったまま23日21時頃に徳島県南部に上陸した。その後も暴風域を伴ったまま四国から近畿地方を北上し、24日2時に日本海に抜けた後、15時に秋田県沖で温帯低気圧に変わった。 <日最大風速> 福井 17.4m/s (24日00時49分 南東) 敦賀 21.3m/s (24日03時00分 南南東) <最大瞬間風速> 福井 29.5m/s (24日03時16分 南) 敦賀 37.5m/s (24日00時50分 南東)

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2018 (平30) 9.4～5	台風 21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 6人 (2)住家被害 半壊 4棟 一部破損 115棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 8棟 (4)その他 学校 12箇所 (5)その他 道路 9箇所 (6)その他 河川 6箇所 (7)その他 砂防 1箇所 (8)その他 鉄道不通 1箇所 (9)その他 被害船舶 1隻 (10)電気被害 5,200戸 (11)公立文教施設被害 7,674千円 (12)農林水産業施設被害 10,142千円 (13)公共土木施設被害 76,052千円 (14)その他の公共施設被害 82,999千円 (15)その他被害 2,792千円 (16)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町	台風第21号は暴風域を伴い非常に強い勢力を維持して4日12時頃に徳島県南部に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま北北東に進み、14時頃に兵庫県神戸市付近に再上陸した。 15時には若狭湾に達し、日本海を北上した後、5日9時に間宮海峡で温帯低気圧に変わった。 <日最大風速> 福井 21.8m/s (4日15時59分 南南東) 敦賀 26.3m/s (4日15時29分 南南東) <最大瞬間風速> 福井 37.9m/s (4日16時22分 南) 敦賀 47.9m/s (4日15時00分 東南東)
2018 (平30) 9.30～ 10.1	台風 24号	(1)住家被害 一部破損 3棟 (2)その他 砂防 1箇所 (3)その他 鉄道不通 1箇所 (4)電話被害 6回線 (5)公共土木施設被害 7,430千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町、高浜町	台風第24号は、四国の南海上を北東に進み、非常に強い勢力を維持して30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま更に速度を速めて東海、関東甲信、東北地方を北東に進み、10月1日12時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。 <日最大風速> 福井 12.0m/s (1日00時27分 北北西) 敦賀 21.8m/s (30日23時49分 北北西) <最大瞬間風速> 福井 23.7m/s (1日00時08分 北) 敦賀 30.8m/s (30日23時42分 北北西)

第2章 平成30年の天候概況

1 天候の特徴

◇ 年（1月～12月）の概況

1月～2月は、3年ぶりの寒冬。低温・多雪。日本付近には強い寒気の流れ込むことが多く低温となった。冬型の気圧配置がしばしば強まったため、山地や山沿いに加えて平地でも大雪となり、交通障害が発生した。特に2月4日から8日にかけて日本付近は強い寒気に広く覆われたため、北陸地方を中心に大雪となり、福井市では昭和56年（1981年）の豪雪以来37年ぶりに積雪が140センチを超える大雪となったほか、降雪の深さ日合計が統計開始以来の極値を更新した所もあった。

3月～5月は、かなりの高温・かなりの多雨・多照。日本付近への寒気の南下が弱く、暖かい空気に覆われやすかったため、かなりの高温となった。低気圧の通過時に南から湿った空気が流れ込みやすかったため、かなりの多雨となった。

6月～8月は、かなりの高温・かなりの多照。太平洋高気圧とチベット高気圧の張り出しがともに強まり、晴れて厳しい暑さの日が続き、かなりの高温となった。8月には台風第20号が西日本を縦断して日本海へ進み、日本海側はフェーン現象により気温が顕著に上昇した。

北陸地方の梅雨入りは6月9日ごろで平年並（平年は6月12日ごろ）、梅雨明けは7月9日ごろで平年よりかなり早かった（平年は7月24日ごろ）。

9月～11月は、多雨・寡照。9月は秋雨前線が停滞しやすく、曇りや雨の日が多かった。また、日本の南で高気圧が強く、湿った空気が流れ込みやすかったほか、上旬には台風第21号、下旬には第24号の影響を受けて、大雨となった日があった。9月はかなりの多雨・かなりの寡照となった。9月終わりから10月上旬にかけて、台風第24号と第25号が相次いで日本に接近した。10月中旬以降の天気は概ね数日の周期で変化した。11月は寒気や気圧の谷の影響を受けにくかったため、かなりの少雨、かなりの多照となった。

12月は、冬型の気圧配置となり寒気の影響を受けた日が多く、雨や雪の日が多かった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	15.3	+0.8	高い	2632.0	118	多い	1844.4	114	かなり 多い
敦賀	16.2	+0.9	かなり 高い	2560.0	120	多い	1778.4	114	かなり 多い

※平年差（比）は、平年値（1981年～2010年の30年平均値）から求めています。

◇ 台風

台風の年間発生数は平年より多い29個（平年値25.6個）となり、日本への接近数は16個（平年値11.4個）、上陸数は平年を上回る5個（平年値2.7個）。北陸地方への接近数は6個（平年値2.5個）となった。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生	1	1	1			4	5	9	4	1	3		29	25.6
上陸 (注1)							1	2	2				5	2.7
北陸地方に 接近した台風							2	2	2				6	2.5

(注1) 「上陸」は台風の中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指す。

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としている。

・接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

2 月別気象概況

◇ 2018年(平成30年) 月別気象概況

1月

高気圧に覆われた日もあったが、冬型の気圧配置や気圧の谷、前線の影響で雨や雪の日が多くなった。特に12日から13日にかけて、強い寒気の影響を受けたため大雪となった。

月平均気温は、勝山で平年よりかなり低く、その他の地点では平年より低くなった。

月降水量は、小浜、大飯で平年よりかなり少なく、今庄で平年より少なく、その他の地点では平年並か平年より多くなった。

月間日照時間は、小浜で平年より多く、敦賀、美浜で平年並、その他の地点では平年より少ないか、かなり少なくなった。

2月

高気圧に覆われた日もあったが、冬型の気圧配置や気圧の谷、前線の影響で雪や雨の日が多くなった。特に4日から冬型の気圧配置が強まり、5日から6日は嶺北を中心に大雪となった。

月平均気温は、三国、勝山、越廼、敦賀で平年より低く、その他の地点では平年よりかなり低くなった。

月降水量は、小浜、大飯で平年よりかなり少なく、三国、九頭竜、今庄、敦賀、美浜で平年並、その他の地点では平年より多いか、かなり多くなった。

月間日照時間は、勝山、大野で平年より少なく、三国で平年並、その他の地点では平年より多いか、かなり多くなった。

3月

低気圧や前線、気圧の谷の影響で雨の降った日があり、上旬までは雪が降った日もあったが、中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

月平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなった。

月降水量は、越廼、大飯で平年よりかなり多く、美山、今庄で平年並、その他の地点では平年よ

り多くなった。

月間日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

4月

低気圧や移動性の高気圧により天気は周期的に変わり、上旬には雪が降った所もあった。

月平均気温は、大野で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

月降水量は、三国、九頭竜、美浜、小浜、大飯で平年より多く、その他の地点ではかなり多くなった。

月間日照時間は、敦賀、美浜、小浜で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

5月

低気圧や移動性の高気圧により天気は周期的に変わった。

平均気温は、大野、今庄で平年並、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、福井、美山、勝山、大野、大飯で平年よりかなり多く、その他の地点では多くなった。

日照時間は、三国、越廼、美浜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

6月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風や低気圧、梅雨前線の影響で雨や曇りの日が多くなった。

平均気温は、今庄で平年並、三国で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、大飯で平年より多く、三国、九頭竜でかなり少なく、越廼、福井、大野で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、勝山、大野、美浜で平年よりかなり多く、その他の地点では多くなった。

7月

高気圧に覆われて晴れとなった日が多くなったが、台風や低気圧、梅雨前線の影響で雨や曇りの日もあった。

平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、三国、大飯で平年よりかなり多く、越廼、九頭竜、敦賀、小浜で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

8月

高気圧に覆われて晴れとなった日もあったが、台風や低気圧および前線の影響で雨や曇りとなった日もあった。

平均気温は、勝山で平年よりかなり高くなり、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、三国で平年よりかなり多く、越廼、敦賀、美浜、小浜で平年より多く、勝山、大野では平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、福井、美浜で平年より多くなったが、その他の地点では平年並となった。

9月

台風や低気圧および前線の影響で雨や曇りとなった日が多くなった。

平均気温は、すべての地点で平年並となった。

降水量は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

日照時間は、すべての地点で平年よりかなり少なくなった。

10月

台風や低気圧および前線の影響で雨や曇りとなった日があったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

平均気温は、勝山、大野、敦賀、小浜で平年並となったが、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、三国、九頭竜、今庄、敦賀で平年並となったが、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、福井、越廼で平年より多くなったが、その他の地点では平年並となった。

11月

低気圧や前線および気圧の谷の影響で天気は周期的に変化した。

平均気温は、すべての地点で平年より高くなった。

降水量は、小浜、大飯で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

日照時間は、美浜、小浜で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

12月

低気圧や冬型の気圧配置および寒気の影響で、雨または雪となった日が多くなった。

平均気温は、今庄で平年よりかなり高く、越廼、福井では平年並、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、三国、越廼で平年より少なく、勝山、九頭竜、敦賀、大飯では平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国で平年並、美浜、小浜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

第3章 防災訓練の実施状況

1 総合防災訓練

(1) 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を実施する。また、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図る。

今年度は、テクノポート福井を主会場に、近畿府県合同防災訓練を実施し、大規模複合災害への着実な対応として、実動部隊による実践的な訓練と石油コンビナート等での消火訓練を実施し、また、陸路・海路・空路と多様な手段による物資搬送訓練、4市町において住民避難・誘導訓練を実施した。

(2) 日時

平成30年11月 9日（金）9時00分～

11月10日（土）7時00分～12時30分

(3) 場所

①緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練

実施日時：平成30年11月 9日 終日

平成30年11月10日 午前

実施場所：テクノポート福井、永平寺河川公園、福井県消防学校、北陸新幹線高架橋、
福井市沿岸部 等

②福井県総合防災訓練

実施日時：平成30年11月10日 午前

実施場所：テクノポート福井、永平寺河川公園 等

③福井県石油コンビナート等総合防災訓練

実施日時：平成30年11月10日 午前

実施場所：福井国家石油備蓄基地、福井港

④関西広域応援訓練（実動）

実施日時：平成30年11月10日 午前

実施場所：敦賀市総合運動公園 等

(4) 主 催

総務省消防庁、福井県、福井県消防長会、関西広域連合、
福井市、あわら市、坂井市、永平寺町

(5) 訓練想定

嶺北北部における大雨および地震による複合災害を想定

○1日目（緊急消防援助隊訓練の想定）

嶺北北部を震源とする地震により、緊急消防援助隊が参集し救助活動を実施

○2日目（福井県総合防災訓練等の想定）

嶺北北部沿岸部を震源とする地震により、自衛隊他各防災機関が参集し救助活動を実施

(6) 参加機関 210機関（約2,000人）

(ア) 国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、北陸総合通信局、敦賀海上保安部、東京管区気象台福井地方气象台、近畿地方整備局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所

(イ) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、
陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団

(ウ) 警察関係

福井県警察本部、坂井西警察署、各市町防犯隊

(エ) 応援県

石川県、富山県、岐阜県、奈良県

近畿2府7県合同防災訓練関係

福井県、京都府、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県

(オ) 消防関係

福井県消防長会、嶺北消防組合消防本部、福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、永平寺町消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、嶺北消防組合あわら消防団、自主防災組織、(公財)福井県消防協会

京都府消防、金沢市消防、堺消防、三重県消防、四日市市消防局、四日市消防、
神戸市消防局、大阪市消防局、大津市消防局、徳島市消防局、奈良県および奈良市消防局、和歌山市消防局

(カ) 医療関係

(一社)福井県医師会、(一社)坂井地区医師会、(一社)福井県歯科医師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、永平寺町赤十字奉仕団、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、福井勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院

(キ) 交通運輸関係

福井県倉庫協会、(一社)福井県トラック協会、日本通運(株)福井支店、(一社)日本自動車連盟、えちぜん鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)金沢支社福井地域鉄道部、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社

(ク) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTフィールドテクノ北陸支店、(公財)日本公衆電話会、(株)NTTドコモ北陸支社、ドコモCS北陸(株)、KDDI(株)北陸総支社、ソフトバンク(株)、北陸電力(株)福井支店、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)福井県電業協会、福井県管工事協会連絡協議会、(一社)坂井郡建設業協会、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、関西電力(株)原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(ケ) 各種団体

日本郵便(株)、北陸地方非常通信協議会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、福井市社会福祉協議会、永平寺町災害ボランティアセンター連絡協議会、福井県石油業協同組合、(株)福井銀行、NHK福井放送局、福井街角放送(株)、(株)日立国際電気、大塚製薬(株)、セツカートン(株)、福井県民生活協同組合

(コ) 地元地区関係

福井市、あわら市、坂井市、永平寺町

(7) 主な訓練項目

(ア) 大規模複合災害への着実な対応訓練

① 実動機関(自衛隊・警察・消防)による実践的な訓練

㊦ 海路・空路による消防部隊の投入訓練 【海自ひうち】【陸自チヌーク】

㊧ ブラインド形式による実動部隊が連携した救出救助訓練

(ブラインド訓練箇所数の増加〈1カ所→16カ所〉、各訓練内容のレベルアップ)

㊨ 新幹線高架橋および木造密集地での現地訓練

・列車橋梁事故救出訓練

(福井市中藤新保町)

・木造密集地消火訓練

(福井市白方町)

② 防災情報の収集・伝達・共有訓練

㊦ ドローン協会等と連携した映像情報収集・伝達訓練

㊧ 災害情報共有システム(D-NET)を活用した訓練

(机上に投影された地図に手書きペンにより災害情報等を直接入力でき、その情報を複数の端末で情報共有可能なシステム)

③ 石油コンビナート等での火災を想定した消火訓練 等

㊨ 大容量の送水・放水能力を有する機材を使用した消火訓練

【消防ドラゴンハイパー・コマンドユニット】

・タンカーの火災消火訓練、福井港内での流出油処理訓練

【海保艦船えちぜん・あさぎり、海保へりみほづる】

(イ) 多様な手段による物資の搬送訓練

㊩ 陸路に加え、海路・空路による物資搬送訓練

【海自ひうち】【海保えちぜん】【陸自チヌーク】

・物資の受入、避難所への搬送

【県トラック協会】

(ウ) 地震および豪雨に対する住民避難・誘導訓練

・参加住民 合計4,000名

(エ) 災害対策本部運営訓練

① 訓練想定に合わせた図上訓練

・災害情報インターネットシステムを活用した被害情報集約訓練

・緊急時初動班参集訓練

2 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	26	27	28	29	30
総合防災訓練	日時	平成26年11月1日(土)	平成27年8月30日(日)	平成28年10月30日(日)	平成29年8月27日(日)	平成30年11月9日(金)
	場所	弁天緑地、勝山市一円、大野市保健センター	小浜漁港、小浜市一円、県立大学小浜キャンパス	北潟湖畔公園	南越前町日野川河川敷	テクノポート福井、永平寺河川公園
	主催	福井県、勝山市	福井県、小浜市	福井県、あわら市	福井県、南越前町、越前市	福井県、福井市、あわら市、坂井市、永平寺町
	参加機関	84	85	93	107	210
	訓練種目	39	48	44	41	92
	想定	大雨と地震による災害	大雨による土砂災害および津波災害	大雨および地震・津波による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害
参加人員	4,500	4,100	5,300	3,000	6,000	
石油コンビナート等	日時		平成27年8月9日(日)			平成30年11月10日(土)
	場所		福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺			福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺
	主催		福井県石油コンビナート等防災本部			福井県石油コンビナート等防災本部
	参加機関	未開催	30	未開催	未開催	30
	訓練種目		28			9
	想定		地震による原油漏えい、防油堤一部破損および余震によるタンク			地震による原油漏えい、防油堤一部破損および余震によるタンク
参加人員		451			100	
原子力防災訓練	日時	平成26年8月31日(日)	平成27年10月16日(金) ※平成27年度は個別訓練	平成28年8月27日(土)、28日(日)		平成30年8月25日(土)、26日(日)
	訓練対象施設	関西電力(株)高浜発電所3号機	関西電力(株)高浜発電所	関西電力(株)高浜発電所、大飯発電所		関西電力(株)大飯発電所、高浜発電所
	主催	福井県、高浜町、小浜市、おおい町、若狭町	福井県	福井県		国
	参加機関	120	①最初対応訓練 86機関、442名参加	高浜:150 大飯:100		191
	訓練種目	12	②安定ヨウ素剤緊急時配布訓練 13機関、84名参加	13		13
	想定	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	③スクリーニング・除染訓練 6機関、71名参加	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出		全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出
参加人員	4,100	④緊急時モニタリング訓練 6機関、84名参加	5,546		7,457	

3 市町別自主防災組織の結成状況

平成31年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	103,432	1,146	75,514	101,447	98.1%
敦 賀 市	28,653	89	2,225	25,803	90.1%
小 浜 市	11,997	105	1,260	8,745	72.9%
大 野 市	11,827	204	5,894	11,093	93.8%
勝 山 市	7,174	113	1,787	6,951	96.9%
鯖 江 市	24,474	153	7,256	24,412	99.7%
あ わ ら 市	9,859	105	4,311	9,071	92.0%
越 前 市	30,592	239	9,520	30,342	99.2%
坂 井 市	31,777	312	4,366	23,060	72.6%
永 平 寺 町	6,307	89	3,621	6,307	100.0%
池 田 町	943	20	140	737	78.2%
南 越 前 町	3,449	64	911	3,039	88.1%
越 前 町	7,269	62	1,496	5,493	75.6%
美 浜 町	3,672	18	5,592	2,060	56.1%
高 浜 町	4,318	36	4,318	2,748	63.6%
お お い 町	3,216	30	1,752	1,863	57.9%
若 狭 町	4,979	93	1,352	4,675	93.9%
合計・ 平均	293,938	2,878	131,315	267,846	91.1%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（平成31年4月1日現在）

隊 員 数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（平成31年4月1日現在）

第4章 平成30年度防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（平成31年4月1日現在）

〔固定系〕

区分	局数		設置場所	
	多重系	衛星系		
統制局	1	1	県庁	
中継局	6		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国） 八ツ杉（越前市別印） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）	
支部局	8	7	8土木（福井、三国、奥越、勝山 [※] 、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜） [※] 勝山土木は衛星系を持たない	
合庁局	2	2	2合同庁舎（福井、丹生）	
ダム管等局	12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管 [※] 、龍ヶ鼻ダム下流連絡所 [※] 、永平寺堰堤 [※] 笹生川ダム管、笹生川堰堤 [※] 、浄土寺川堰堤 [※] 広野ダム管、広野堰堤 [※] 、榎谷堰堤 [※] 大津呂堰堤 [※] 、河内川堰堤 [※] [※] 水防無線局を含む	
小計	29	10		
端末局	県出先機関		14	健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、丹南（武生）、二州、若狭）、県立病院、福井港湾、敦賀港湾 衛生環境センター、防災航空事務所 [※] 坂井上水、日野川上水 [※] 福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市町		17	9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部		7	7消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 [※] 鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機関等		19	福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小計		57	
衛星車載局		1		
可搬型地球局		3		
合計	29	71		

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所	
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉） 土木事務所（勝山、敦賀） 笹生川ダム管	
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎	
	400MHz防災相互	1	防災航空事務所	
	計	13		
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）	
陸 上 移 動 局	全県移動局 260MHzデジタル	車載型	47	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型	39	県出先機関8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
				9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
				8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
				9消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭 5防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
		携帯型	70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
		携帯型(他機関)	44	原子力センター 3台、地域医療課 41台
	小 計	200		
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局	
	消 防 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所
		携帯型	8	県庁 1台、防災航空事務所 7台
小 計		9		
防 災 移 動 局	携帯型	5	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
計		215		
携 帯 局 (ヘリ用)	消防用	2	防災ヘリコプター	
航 空 機 局	航行運航用	1		
簡 易 無 線 局		2	簡易画像伝送装置（衛星車載局に搭載）	
ヘ リ サ ツ ト 局	携帯基地地球局	固定型	1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型	1	防災ヘリコプター
	計		2	
合 計			241	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

平成30年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 ・ 合 庁 局	356,198	29,683	(10局) 2,968
ダ ム 管 等 局	10,149	846	(11局) 77
県 出 先 機 関	9,297	775	(15局) 52
市 町	558	47	(17局) 2.8
消 防 本 部	183	15	(9局) 1.7
国 出 先 機 関	78	6.5	(5局) 1.3
公 共 機 関	70	5.8	(9局) 0.6
原 子 力 発 電 所 等	78	6.5	(10局) 0.7
合 計	376,611	31,384	(86局) 365

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

平成30年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	244	1,590	1,137	2,971	290	53	3,314
前年比 (%)	101	110	108	109	82	70	105

[指令種類別]

平成30年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	2,745	63	275	251	0	3,334
前年比 (%)	99	81	95	93	—	98h

(3)一斉指令月別通信回数

平成30年中

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
内容	気警報	28	40	10	0	0	0	45	64	10	0	2	244
	象注意報	146	118	170	128	122	106	112	148	130	102	168	1,590
	関情報	105	116	71	48	51	44	231	125	51	27	100	1,137
	係小計	279	274	251	176	173	150	388	353	337	191	129	2,971
別	事務連絡	37	25	36	31	33	22	25	21	13	8	18	290
	テラスト	1	2	8	9	8	2	2	0	2	3	1	53
種類	計	317	301	295	216	214	174	415	358	206	140	289	3,314
	全県	304	288	276	176	172	143	266	286	175	123	263	2,745
	県出先	2	2	4	7	10	10	5	6	2	6	5	63
	市町	11	11	15	17	16	13	73	55	35	16	7	6
別	消防	10	9	11	16	16	8	71	33	13	4	5	251
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	327	310	306	216	214	174	415	389	358	206	140	279	3,334

備考)市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

平成30年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	2,992	4,250	3,595	3,424	3,704	3,278	3,533	3,502	3,031	3,374	2,978	2,476	40,137
三国支部・坂井合庁	2,776	4,293	3,914	4,335	4,048	3,790	3,746	3,341	2,796	3,666	3,467	2,845	43,017
奥越支部・奥越合庁	2,684	3,392	4,012	4,311	4,185	3,354	3,329	3,345	3,034	3,392	3,289	2,992	41,319
勝山中継局	611	680	742	534	538	587	707	612	618	658	574	670	7,531
丹南支部・南越合庁	4,177	4,852	5,775	5,080	4,841	4,503	4,890	4,136	4,011	4,479	4,454	3,676	54,874
鯖江丹生支部	1,274	1,739	1,787	1,918	1,504	1,454	1,779	1,306	1,151	1,390	1,218	1,108	17,628
敦賀支部・敦賀合庁	2,950	3,184	4,097	3,945	3,715	3,683	3,576	3,157	2,920	3,435	3,185	2,764	40,611
小浜支部・若狭合庁	4,096	4,233	4,999	5,664	4,998	4,882	5,040	4,386	3,865	4,440	4,516	3,779	54,898
福井合庁	3,208	3,616	4,562	4,903	4,535	3,998	3,936	3,655	3,057	3,760	3,642	3,370	46,242
丹生合庁	648	904	956	1,009	919	809	869	839	783	847	756	602	9,941
原子カセンタ	372	450	516	312	431	469	515	276	379	464	420	411	5,015
笹生川ダム管	106	70	163	132	86	87	151	92	104	130	164	147	1,432
笹生川堰堤	0	0	0	8	3	16	5	3	4	10	15	2	66
浄土寺川堰堤	3	0	1	14	34	15	9	7	10	15	13	5	126
広野ダム管	110	128	285	272	169	161	144	197	181	174	131	115	2,067
広野堰堤	4	2	3	3	5	24	6	2	7	1	2	14	73
榑谷堰堤	2	1	5	11	3	20	9	4	2	0	2	13	72
龍ヶ鼻ダム管	75	88	171	132	70	79	93	92	74	109	101	56	1,140
永平寺ダム	9	1	5	1	3	10	8	1	1	0	0	12	51
大津呂ダム管	0	0	0	12	0	6	10	2	4	2	0	6	42
河内川ダム	0	0	0	0	0	0	0	0	46	1	18	0	65
計	26,097	31,883	35,588	36,020	33,791	31,225	32,355	28,955	26,078	30,347	28,945	25,063	366,347

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している

4 端末局無線通信回数調

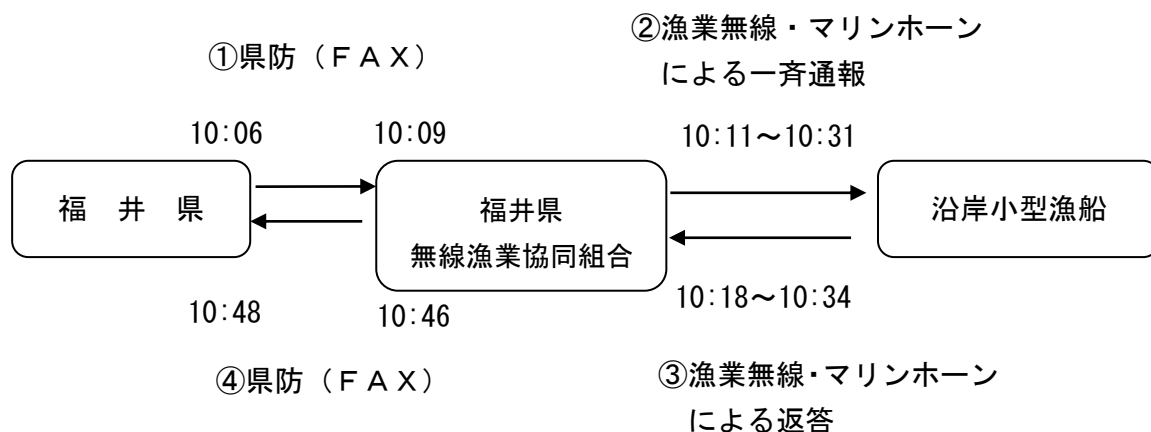
平成30年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	41	福 井 消 防	20	福 井 気 象 台	60
敦 賀 市	17	大 野 消 防	26	鯖 江 自 衛 隊	6
小 浜 市	36	勝 山 消 防	28	舞 鶴 自 衛 隊	5
大 野 市	43	永 平 寺 消 防	15	敦 賀 海 保	2
勝 山 市	36	嶺 北 消 防	27	福 井 海 保	5
鯖 江 市	32	鯖江丹生消防	14	国 出 先 計	78
あ わ ら 市	61	南 越 消 防	15	福 井 駅	4
越 前 市	44	敦賀美方消防	16	N H K 福 井	8
坂 井 市	40	若 狭 消 防	22	福 井 テ レ ビ	10
市 計	350	消 防 計	183	福 井 放 送	5
永 平 寺 町	35	福 井 保 健	121	F M 福 井	6
池 田 町	13	若 狭 保 健	118	日 赤 福 井	7
南 越 前 町	27	二 州 保 健	152	福 井 県 医 師 会	5
越 前 町	26	丹 南 保 健	131	福 井 火 力	7
美 浜 町	26	坂 井 保 健	74	福 井 備 蓄	18
若 狭 町	20	奥 越 保 健	142	公 共 機 関 計	70
お お い 町	20	武 生 保 健	18	原 電 敦 賀	8
高 浜 町	41	衛 生 環 境 セ ン タ ー	3,221	関 電 美 浜	11
町 計	208	県 立 病 院	213	関 電 大 飯	7
市 町 計	558	防 災 航 空 隊	57	関 電 高 浜	7
		福 井 港 湾	657	原 子 力 機 構 ふ げ ん	6
		敦 賀 港 湾	2,792	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	11
		福 井 空 港	22	敦 賀 オ フ サ イ ト	7
		坂 井 上 水	573	美 浜 オ フ サ イ ト	7
		日 野 川 上 水	1,006	大 飯 オ フ サ イ ト	6
		県 出 先 計	9,297	高 浜 オ フ サ イ ト	8
				原 子 力 発 電 所 等 計	78
				合 計	10,264

※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

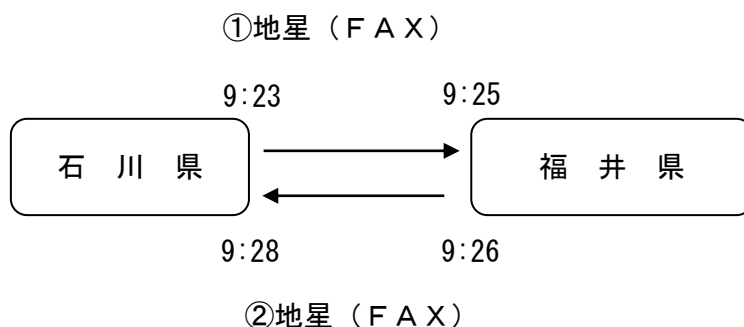
5 非常通信訓練実施状況

- (1) 平成30年度原子力総合防災訓練に伴う非常通信訓練（平成30年8月25日）
 ・福井県から沿岸の船舶に向けて情報発信（漁業無線およびマリンホーンを使用）



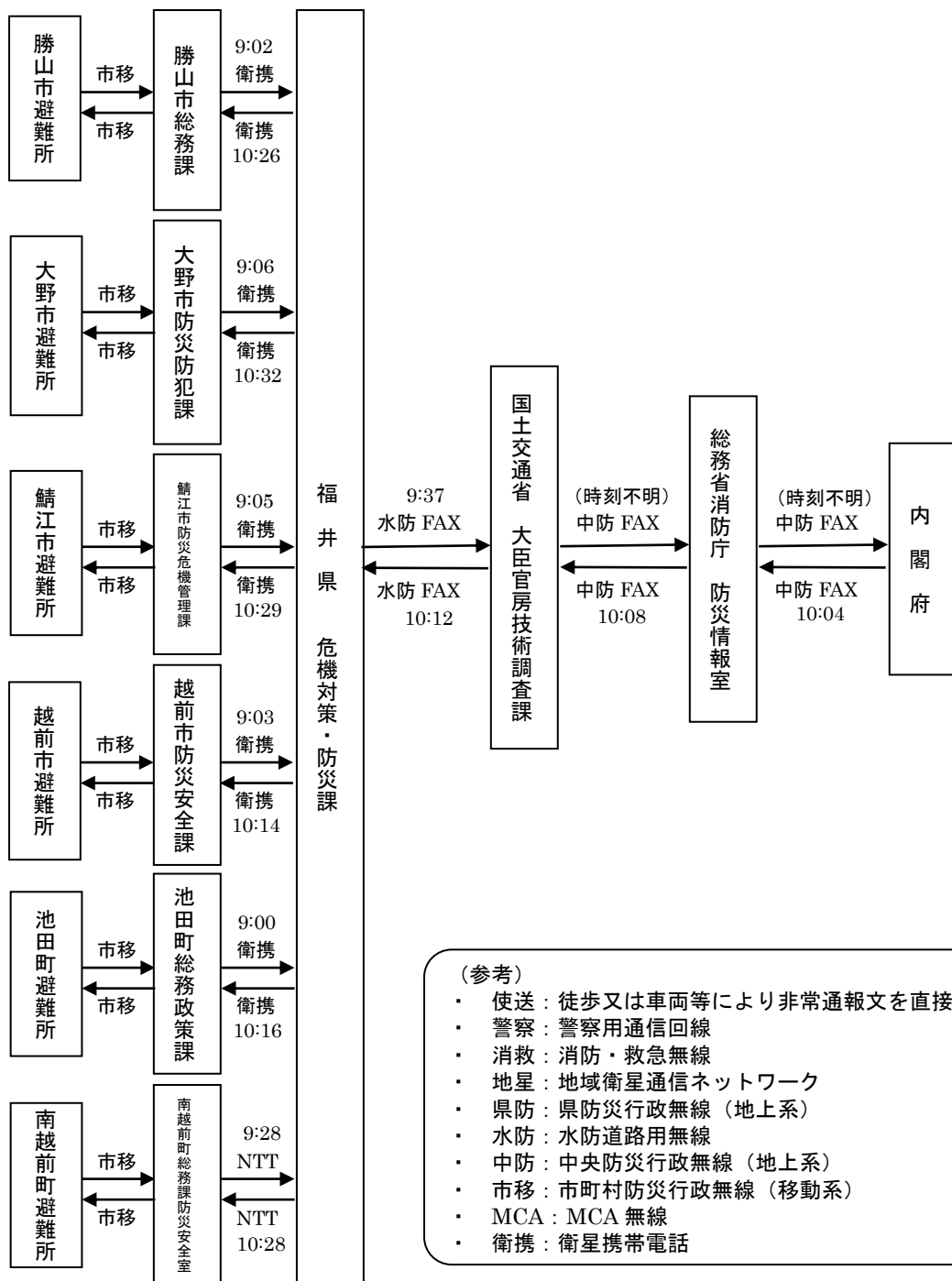
- (2) 平成30年度福井県総合防災訓練における災害対策用移動通信機器貸出訓練
 （平成30年11月9日）
 ・北陸総合通信局から携帯型MCA無線機を借り受け、①福井県庁、②訓練主会場（テクノポート福井）、③訓練サブ会場（福井国家石油備蓄基地）の3カ所で通信訓練を実施

- (3) 平成30年度石川県総合防災訓練に伴う非常通信訓練（平成30年11月25日）
 ・石川県との、地域衛星通信ネットワークを使用したFAX送信訓練



(4) 平成30年度 第81回全国非常通信訓練 (平成30年11月27日)

- ・ 嶺北南部地方の各市町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話 (ワイドスターII)、県庁～内閣府間は国土交通省の水防無線ルートを使用。
- ・ なお、訓練当日「南越前町」の衛星携帯電話が衛星補足できなかったため、NTT回線で対応した。

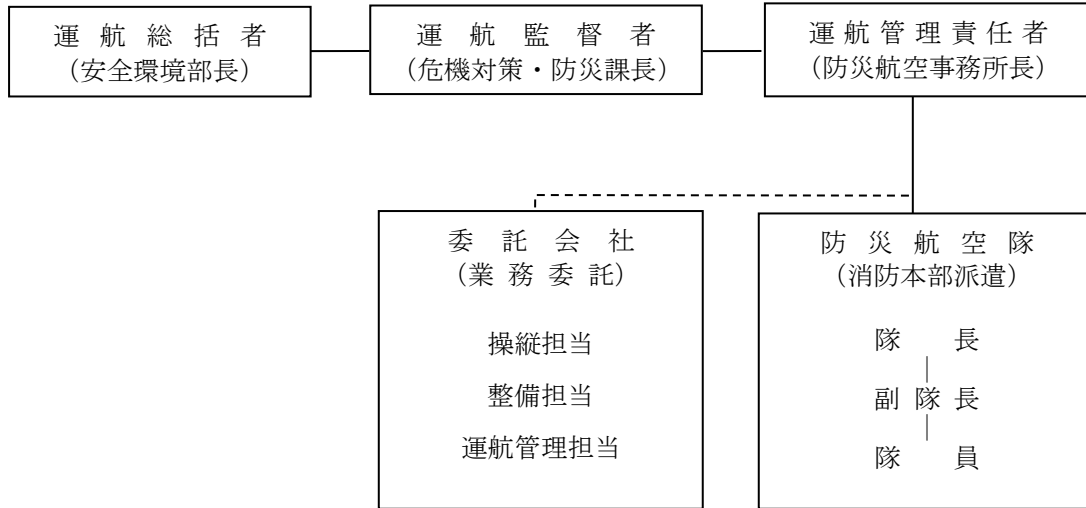


第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

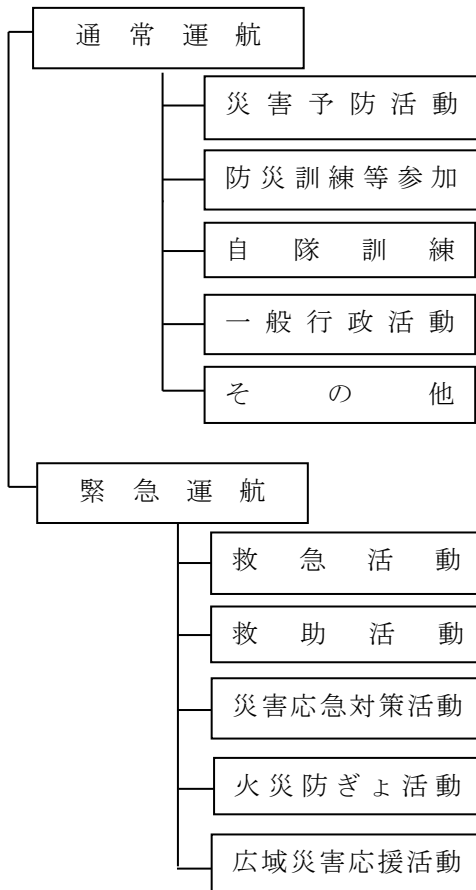
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 （ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで）

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

平成31年3月31日現在

区分	緊急運航					通常運航							合計	
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害援	計	自隊訓練	防災訓練参加	災害予防活動 危険箇所調査	災害予防活動 災害予防広報	一般行政	整備		その他
平成21年度	件数 21 時間 7:36	28 23:32		3	15 31:21	67 63:30	82 127:17	45 34:06		3	4	10	4	215 253:44
平成22年度	件数 22 時間 9:31	26 19:26			15 21:26	63 50:23	128 162:56	40 30:53		4	3	4	3	245 269:40
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46	39 29:10		4	4	3	4	241 250:26
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61 46:39	162 183:11	39 27:30		3	1	5	5	276 279:52
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73 61:37	158 184:16	33 21:18		3	1	5	4	277 290:01
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69 45:42	139 146:21	33 26:36	1	3	4	8	8	265 247:49
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78 55:16	162 174:09	40 25:37			2	6	3	291 264:19
平成28年度	件数 37 時間 20:50	31 30:03			10 14:41	78 65:34	142 152:04	40 29:34			2	9	2	273 262:16
平成29年度	件数 28 時間 15:55	40 29:37		1 1:04	14 14:55	83 61:31	152 159:41	27 20:22			1	7	3	273 249:40
平成30年度	件数 21 時間 15:19	18 9:26	1 0:25	1 0:24	21 12:56	62 38:30	176 188:45	32 22:58			1:26	8	4	282 257:45

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容

福井県消防学校内

2 運用組織図

使用管理者 (危機対策・防災課長)	運用統括責任者：運用総括業務	1名
	通信機器操作員：通信機器類の操作、調整 県庁統制局の操作、調整	2名 1名
	情報収集伝達員：情報の収集、伝達	2名

3 運 用

<非常時の運用>

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

<平常時の運用>

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径	1.8m
駆動部	電動/手動		
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能		

<送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

<端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4CH
	デジタル画像送信用	1CH
	デジタル画像受信用	1CH

デジタル画像変復調部 動 画：6Mbps

<その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送

